

第3回 医療事故調査・支援センター主催研修について

1. **研修名** 中小規模の医療機関における医療事故調査の実際と今後に向けて
～地域における支援や協働のあり方をともに考える～
2. **目的** 中小規模の医療機関における事故報告や院内調査の実際、ならびに地域における医療機関の連携や支援の実際を踏まえ、医療事故調査を円滑に実施するための方策について幅広く協議する機会とする。
3. **対象者** 医療機関管理者及び医療安全担当者、及びそれに準ずる方
4. **日程・方法** 令和4年12月3日（土）13:00～16:00 ライブ配信
(令和4年12月9日～令和5年2月28日 オンデマンド配信)
5. **参加予定数** 1,145人（内ライブ参加306人）12/6現在
6. **内容**
「開会挨拶」 門田 守人（日本医療安全調査機構 理事長）

第1部 「医療事故調査制度の現況」
講師：木村 壯介（日本医療安全調査機構 常務理事）

第2部 「医療事故調査制度の対応と支援の実際」
座長：山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問）
（講演1）「制度への報告や院内調査を経験した管理者の立場から」
講師：折田 博之 氏（中津市立中津市民病院 院長）
（講演2）「院内調査に携わった看護師の立場から」
講師：深澤 美由記 氏（上尾中央総合病院 医療安全管理課 課長）
（講演3）「中小規模の医療機関を支援する立場から」
講師：南須原 康行 氏（北海道大学病院医療安全管理部 部長）
（講演4）「院内調査の実施にあたり、支援を行っている支援団体の立場から」
講師：伊藤 進一 氏（兵庫県医師会 医療安全担当常任委員）

第3部 全体討論「医療事故調査を円滑に行うために何をするか」
座長：山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問）
長尾 能雅 氏（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 部長）
第2部講演者4名、木村壯介常務理事

「閉会挨拶」 矢島 鉄也（日本医療安全調査機構 専務理事）